

# 令和5年度 事業報告

認定こども園 藤枝橘幼稚園

令和5年度はコロナウイルス感染症も5類に移行し規制が緩和し気持ち的にも緊張が解けて行事もコロナ禍以前に少しずつ戻すようにしてきました。しかし、コロナウイルスがなくなったわけではありませんので、今まで通り感染症対策を行いました。また、昨年度に引き続き、県私学振興課指導の下、マニュアルの見直し、バス事故防止対策、教職員の意識改革・質の向上を促す研修、メンタル配慮などを行いました。

食育に力を入れるように管理栄養士を採用し2年目となり、給食は元より質の高い安全な手作りおやつを週2度提供し定着してきたと思います。また地元特産の抹茶を使ったおやつや、藤枝市とタイアップし藤枝の食文化「朝ラー」を提供しました。

4月当初に職員不足だったり、年度途中に一身上の都合で退職したりで職員の移動がありましたが、6月から令和6年1月まで順次非正規職員も合わせて6人の職員が加わり、保育・午後の2号保育・預かり保育も充実することが出来ました。

その他、令和5年度事業が終了致しましたので下記のように報告致します。

## 1. 事業

### ◇子どもの安全安心を第一に

- ・バス見守りシステム（国・県の補助金あり）
- ・遊具点検…指摘箇所の修理
- ・ICT充実…セキュリティ強化
- ・遊戯室、教室、廊下の照明LDE化
- ・修繕（遊戯室エアコン・冷水器・網戸）

## 2. 教職員研修

### ◇園内研修 藤私幼の研修 各種団体の研修に参加する

・5類に移行したとはいえ感染症の影響で、まだまだ研修に参加しづらいですが、夏休みに開催された県私立幼稚園振興協会主催の研修会にはリモートや集会で参加し、研修報告をクラウドに上げICTを利用し共有し研鑽しました。また、昨年同様藤私幼北ブロック研修と園内研修を並行し、子ども達の実態を踏まえた重点目標を掲げ取り組むことができました。実践記録を作成し、その資料のもと定期的に話し合い、子ども達のより良い成長につなげる努力をすることができました。また、園長が引き続き県の研修部会の研修委員となったため研修に出かける機会が増え、教職員にも資料等の共有ができたことは、職員の研修に対する意識を高めたりスキルアップする材料になったと思います。

・支援が必要な子どもを、担任だけではなく職員全体で取り組み、問題点・解決方法の話し合いができました。園外のサポート機関の各種研修に参加することで、資質の向上に努めることができました。知識を深め視野を広げることで、子ども達への関わり方や保育内容の充実につながっていくことを感じます。

### 3. 子育て支援

#### ◇親子遊び教室（ふれあい教室）開催・子育て相談への対応

・「ふれあい教室」を、無理なく月2回の計画で継続して行うよう計画を立てました。隔週木曜日に開催し未就園児のご家庭に気軽に参加して頂けるよう、1か月の予定や活動内容を掲示しHPに掲載し、関係機関や、きょうだい関係の在園児に配布して少しでも多くの参加につなげる取り組みをしました。毎回楽しみにしてくれています。ふれあい教室参加のお宅から入園希望が出ています。

#### ◇年少（満3歳）・年中クラス 担任+補助教員(パート職員)配置

・年中クラスは人数が多い為、集団生活の中で、支援が必要な子ども、一斉指示が通りにくい子などに対して、丁寧に関わることができました。また、クラスの実態を多面的に見ることができ、一人ひとりの理解につなげることができました。また、年度途中から入園する満3歳児に職員を配置して手厚く支援できました。

#### ◇2号認定児の午後の保育・1号認定児の預かり保育

#### ◇子どもの安全と保育の充実を図る

・職員の配置を増やし保育の充実を図ること、外遊び時等、目が行き届くことで安全に配慮ができました。子ども達の安全確保のため、玩具の補充や環境を整えることで落ち着いた遊びに繋がるよう努めました。

### 4. 地域交流

#### ◇安全管理や交流のスムーズな連携を図る

・幼稚園の畑にて、園児がジャガイモの種芋を購入し、植えつけ、収穫、調理の一連の流れを通して自然を生かした保育を取り入れて食育にもつなげることができました。また年長児がサツマイモのつるをバスで買い物に行き、さし方の方法を聞いたり気を付けることを聞いたりしてお店の人との交流がありました。大きく育ったサツマイモはみんなで掘って焼き芋大会を行いました。できた焼き芋をご近所に分けて喜ばれ交流が出来ました。

・安全を確保し、散歩(園外保育)に出かけることで季節を感じ、地域の自然環境を大いに生かした保育ができました。また、地域の方とあいさつを交わすことで、人的な交流もできました。

#### ◇Orange Eggとの交流

・園全体の取り組みとしては、感染症予防の為なかなか交流の場を設けることができなかつたことが残念でしたが、共通の給食(おたより等)を通して活動を知る事ができました。

### 5. 自己評価・学校関係者評価などの実施・検証、報告に努める

教職員においては、自分の保育等の振り返りをして、次年度への課題へとつなげて自己研鑽していくために行いました。自己評価も定着して甘すぎず厳しすぎず自己を振り返ることが出来たと思います。

また、Apps(ICT)を利用し保護者アンケートを行いました。保護者アンケートからはほとんどの項目で満足、やや満足の高評価を得られましたが、「保護者のニーズに合った対応がなされているか」については不満・やや不満が17.8%あり今後の課題となりました。

学校関係者評価委員会は、運動会遊戯化を参観していただくことが出来、書面等で貴重なご意見を多数いただきました。

まとめのご意見は、HP等で公表するとともに、次年度への課題へとつなげていきたいと思ひます。